

2019 年度

芝浦工業大学大学院 学生募集要項

理工学研究科 博士（後期）課程

一般入試選抜

社会人特別入試選抜

社会人早期修了コース入試選抜

秋期入学

芝浦工業大学大学院理工学研究科

【個人情報取り扱いについて】

申請書提出時に提供いただく「氏名、住所（連絡先）、その他の個人情報（以下、個人情報）」は、選考ならびに進学の決定通知・入学手続きの連絡を行うために使用いたします。

なお、申請した方の上記個人情報につきましては、入学後は入学時に提出される学生カードと併せて学修指導、緊急連絡の他、学生生活の支援に必要なが生じた場合に使用します。

【個人情報の管理・保管について】

本学は、申請者の方々から提供を受けた個人情報を学校法人芝浦工業大学個人情報保護規程に従い、厳重な管理体制の下で管理・保管をし、申請者の個人情報が第三者に漏洩しないようにいたします。

【問い合わせ：書類送付先】

〒135-8548

東京都江東区豊洲 3-7-5

芝浦工業大学 大学院課

TEL：03-5859-7420

E-mail：daigakuin@ow.shibaura-it.ac.jp

※メールをお送りになる際は、タイトルに【博士秋入試】とご入力ください。

目次

I. 理工学研究科博士(後期)課程の案内

II. 2019年度秋期入学博士(後期)課程募集要項

(一般入試選抜・社会人特別入試選抜)

III. 2019年度秋期入学博士(後期)課程募集要項

(社会人早期修了コース入試選抜)

IV. 出願資格の認定について

V. 2019年度秋期入学博士(後期)課程教員一覧

I. 理工学研究科博士(後期)課程の案内

1. 博士(後期)課程設置の趣旨

芝浦工業大学は、1927(昭和2)年に東京の大森に設置された東京高等工商学校に始まり、まもなく現在の芝浦キャンパスの地に移転、1949(昭和24)年の学制改革で芝浦工業大学となった。現在、工学部9学科、システム理工学部5学科、デザイン工学部1学科、建築学部1学科で学部教育を行っている。

大学院理工学研究科(修士課程)は1963(昭和38)年に開設し、現在は電気電子情報工学、材料工学、応用化学、機械工学、建設工学、システム理工学、国際理工学の7専攻で教育・研究を行っている。

21世紀の高度科学技術時代に対応するためには、電気電子情報、材料、応用化学、機械、建設といった従来の基礎学問体系のみに依存する教育・研究では不十分であり、専門領域の枠を外し、ソフト、ハード両面にわたり、対象を総合的、学際的に取り扱うことのできる幅広い視野と柔軟な思考力をそなえた人材の養成が強く望まれている。このような人材を養成するためには、大学の学部や大学院修士課程の教育に加えて、高度の能力と豊かな学識を有する専門技術者および研究者の養成を目的とした大学院博士課程での教育が重要であると考えられる。

芝浦工業大学の卒業生は、大企業ばかりでなく、いわゆる中小企業にも積極的に飛び込んで、日本の高度経済成長を底辺から支えてきた。それらの企業における技術の高度化にともない、本学における技術教育に対する社会の期待は大きく、一方で、大学もしくは大学院における教育を終え、社会の第一線で活躍している技術者に対する再教育もまた重要な課題である。

芝浦工業大学は、このような観点から、1995(平成7)年、大学院工学研究科(当時)に、区分制博士課程の後期課程を設置し、修士課程における教育を基盤に、学際性に対する対応を十分に配慮しながら、それぞれの専門分野を一層深化することのできる体制を整えた。さらに、1998(平成10)年4月からは、教育・研究の一層の充実と発展を期し、専門分野と教員組織の飛躍的拡充を行った。

2. 人材の育成及び教育研究上の目的

大学院博士(後期)課程では、研究者ポテンシャルの向上を目指して、大学院修士課程の修了者あるいは社会の第一線で活躍している技術者を対象に、豊かな学識を有する専門技術者および研究者として育成することを目的とする。学際的観点から自己の専門分野を深めることにより、ソフト・ハード両面にわたって総合的な見地に立ち、システム全体の調和を図ることができる能力の獲得を目指す。

さらに、産業界で活躍できる博士号取得者となることのできるように、複眼的工学能力、技術経営能力、メタナショナル能力を併せ持つシグマ型統合能力人材の育成を行う。

上記の人材養成を核とする大学院博士(後期)課程における教育研究は、大学の使命である研究推進を担う中核としての役割も担う。

以上の人材養成を基礎とし、各専攻の人材開発目標を以下のように設定する。

【地域環境システム専攻】

都市のような限定された地域においては、人間の社会的、文化的活動が、そこでの生活環境に好ましくない影響を及ぼすことが少なくない。地域の持続的発展には、地域活動の活性化と、生活環境の保全との調和が不

可欠である。

また、その実現には、電気電子・材料・化学・機械・建設工学など、幅広い分野にわたる課題に取り組む必要がある。

地域環境システム専攻は、自らの専門分野の研究を深めると同時に、技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を洞察し、異なる専門分野の研究者が互いの情報を交換することを通じて、地域環境におけるより良い社会・文化・生活の基盤形成に寄与することを目的とする。その教育目標は、地域環境に関する幅広い視野を持ち、高い専門性を活かして、この目的を達成できる人材の育成にある。

【機能制御システム専攻】

20 世紀の日本は、効率性及び利便性を重視し、利益向上を求めてモノづくりに励んできた。結果として環境破壊などの矛盾を抱えるに至った。現在、これらの矛盾を解消しつつ、自動車、ロボット、エレクトロニクス、情報通信などの分野で、日本は世界をリードする技術を有している。そして、それらの技術は益々複雑化している。今後のグローバル社会において、科学技術のリーダーとして世界に貢献するには、対象を深く解析し理解する能力に加えて、複雑化する技術の全体像を掌握し、システム全体の調和を図ることの出来る高い設計能力と技術経営能力が必須となる。

例えば、東日本大震災直後に起きた原発事故では、社会における技術のマネジメント、実装と運用まで含めた社会における技術の利用に関するシステム化技術の重要性が再認識されるなど、再度実学教育を考え直す時期に来ている。これは同時に、世界的な価値観を身に付け、国際的に活躍できる研究者・技術者の育成が求められていることも意味している。

機能制御システム専攻では以上の背景の下に、グローバルな価値観を持ち、科学の真理を把握した上で実学に活かすことのできる優秀な研究者・技術者を養成するための教育研究を行うことを目的とする。本専攻は、通信機能制御、機能デバイス制御、システム制御、生命機能制御など、多くの教育研究分野を有し、学際的な教育研究を展開する。それにより、指導者の分野のみの教育研究に特化することなく、専攻全体が多様性をベースとした関連性を意識し積極的に連携しつつ、技術マネジメント基礎力や技術英語力、共通した価値観・倫理観などを兼ね備えた研究者・技術者の養成を目指す。

3. 理工学研究科概要

博士（後期）課程は「地域環境システム専攻」及び「機能制御システム専攻」の2専攻を置き、総合的かつ学際的な視野に立って専門分野の深化をはかる研究と教育を行う。

4. 学位について

博士（後期）課程の修了者には、博士（工学）または、博士（学術）の学位を授与する。

Ⅱ. 2019 年度秋期入学博士(後期)課程 募集要項

(一般入試選抜・社会人特別入試選抜)

アドミッションポリシー

大学院博士課程では、研究推進と研究者の育成を目指して、豊かな学識を有する専門技術者及び研究者を養成することを目的としています。

そこで、つぎのような入学者を求めます。

- ・理工学研究科が掲げる理念と目的に共感するひと
- ・大学院修士課程の修了者あるいは社会の第一線で活躍しており、高度な研究推進能力あるひと
- ・創造的に新しい分野を積極的に開拓できるひと
- ・工学倫理を遵守できるひと

1. 専攻名および募集定員

課程名	専攻名	募集定員
博士(後期)課程	地域環境システム専攻	12名
	機能制御システム専攻	15名

※募集定員は各試験単位ではなく 2019 年度全体の定員です。

2. 受験区分

次のいずれかの区分で受験することができます。

(1) 一般選抜

「3. 出願資格」に該当する者。

(2) 社会人特別入試選抜

「3. 出願資格」に該当し、かつ、研究機関、教育機関、企業等に勤務している者で、所属長または職場において本人を熟知している指導的立場にある者の受験承諾を得た者。

※原則、在職しながら修学することとなります。

3. 出願資格

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び 2019 年 9 月末日までに修士の学位または専門職学位を授与される見込みの者
- (2) 外国の大学において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2019 年 9 月末日までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2019 年 9 月末日までに修士の学位又は専門職学位を授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2019 年 9 月末日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び 2019 年 9 月末日までに

授与される見込みの者

(6) 文部科学大臣が指定した者（平成元年文部省告示第 118 号）（注 1）

(7) その他、本学大学院理工学研究科委員会において、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2019 年 9 月末日までに 24 歳に達する者（注 2）

注 1）出願資格（6）に該当するものとは、「大学を卒業し、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本学研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者」及び「外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者」をいう。

注 2）出願資格（7）に該当する「修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者」の範囲は、次の①および②の要件を満たす者とする。

- ① 大学を卒業した者で、大学卒業後、3 年以上専門に関連した実務経験に就き、かつ 2 年以上研究・開発等の業務に従事した者であること。
- ② 上記以外の者については、著書、学術論文、学術講演、学術報告、特許等の業績において修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があること。

※ 出願資格（6）および（7）の認定については、後掲「出願資格の認定について」をご参照ください。

※ 各専攻とも出願前に必ず希望する指導教員に予備的な指導を受けてください。

4. 入学者選考方法

(1) 選考方法

- ① 一般選抜の受験者に対しては、提出された修士論文の写し及び、その要旨と博士（後期）課程における研究計画書に基づいて、プレゼンテーション（15 分程度）および口答試問（15 分程度）を行います。
- ② 外国人留学生についても、一般選抜の受験者と同様とします。
- ③ 社会人特別選抜の受験者については、提出された研究業績調書、研究計画書などを中心に関連する専門分野についてプレゼンテーション（15 分程度）および口答試問（15 分程度）を行います。

(2) 入学試験の日時及び試験会場・合格発表等

入学試験日	試験会場・時間	合格発表	入学日
2019 年 7 月 6 日（土）	後日、郵送で通知	2019 年 7 月 18 日（木）	2019 年 10 月 1 日

※合格発表は、本学大学院掲示板への掲示（13:00）と、本学ホームページへの掲載（16:00）にて行います。

※掲示板・ホームページでは受験番号での通知となります。

※合格者の方へは、同日郵便にて合格通知書を送付致します。

※電話等による可否の問合せには応じられませんのでご了承ください。

5. 学費等

費目	1年次			2・3年次		
	入学時	秋期	計	春期	秋期	計
入学金	(260,000)		(260,000)			
授業料	328,900	328,900	657,800	328,900	328,900	657,800
維持料	92,000	92,000	184,000	92,000	92,000	184,000
計	420,900 (680,900)	420,900	841,800 (1,101,800)	420,900	420,900	841,800

※上記、「入学時」に記載されている金額を、入学に先立って入学手続き金としてお振り込みいただきます。

※本学卒業生の入学金は免除されます。()内は本学卒業生以外に適用されます。

6. 学費等納入

(1) 納入額 本学卒業生 420,900円 本学卒業生以外 680,900円

(2) 納入手続き期日 2019年8月19日(月)

(3) 納入先 シバウラコウギョウダイガク ダイガクインニューウカクキンギチ みずほ銀行 浜松町支店 普通 3271331 学) 芝浦工業大学 大学院 入学金口

※振込の際の注意事項

- ①ATMから振り込むことが可能です。その場合、依頼人名は「受験番号」「志願者カナ氏名」の順に入力してください。(例:006001シバウラタロウ)
- ②窓口から振り込む場合は、各金融機関の振込用紙を利用し「電信扱」にて振り込んでください。
- ③振込手数料は、本人負担となります。
- ④振込依頼人名は、志願者本人の氏名でお願い致します。

7. 入学辞退

一度納入された入学料及び授業料等は返還いたしません。ただし、2019年9月末日までに入学辞退届を提出した者については、願い出により入学金を除いた納入金を返還します。本学指定の入学辞退届がございますので、該当する方は本学大学院課へご連絡ください。

8. 注意事項

- (1) 出願後の指導教員変更、所属の専攻を変更することはできません。
- (2) 試験当日、交通機関等に支障をきたすような事態が生じても、受験できるようご注意ください。
- (3) 出願手続き後の提出書類の内容変更・返還ならびに検定料の払いもどしは応じられません。

9. 大学院理工学研究科で申請できる奨学金

①芝浦工業大学大学院博士（後期）課程給付奨学金（給付）

【給付金額】 本学大学院修士課程に在学し、引き続き本学大学院理工学研究科博士（後期）課程への進学を希望するものに学費相当額を給付（学費と相殺）

【給付期間】 1年間（1年ごとに継続審査を経て最大3年間）

【対象者】 学内進学者（本学修士2年生に限る）

【採用数】 若干名

【募集時期】 出願時に申請 【願書】

※募集要項をよく読み、オンライン出願システム上で提出すること。

※奨学金募集要項は、芝浦工業大学大学院学生募集要項（当冊子）と同URLに掲載される。

②芝浦工業大学大学院留学生給付奨学金（給付）

【給付金額】 ①学費相当額を給付（学費と相殺）②生活資金として月額142,000円を支給する。

【給付期間】 1年間（1年ごとに継続審査を経て最大3年間）

【対象者】 海外の大学から本学大学院の理工学研究科博士（後期）課程に進学する者かつ在留資格が「留学」である者のうち、特に優秀であると認められた者

【採用数】 若干名

【募集時期】 出願時に指導教員を通じて申請 【願書】

※募集要項・申請書をダウンロードし使用すること。募集要項をよく読み、申請書を指導教員に提出すること。

※奨学金募集要項は、芝浦工業大学大学院学生募集要項（当冊子）と同URLに掲載される。

10.出願手続き

(1)出願日時・場所(一般入試選抜・社会人特別入試選抜)

日時	場所
2019年5月20日～6月6日 ※出願資格審査対象者は個別連絡	オンライン出願システム「Universal College Application Asia」より申請する。申請方法のマニュアルは5月20日に募集要項掲載ページに掲載する。

(2)提出書類

提出書類	対象者	備考
1 入学願書	全員	オンライン出願システムから必要事項を直接入力する。
2 顔写真	全員	オンライン出願システム上でアップロード(JPEG) 所定欄に写真(4cm×3cm)を添付のこと。なお、写真は上半身・脱帽・正面向き、出願3ヶ月以内に撮影したものとし、写真裏面には氏名・生年月日を記入すること。 ※当該写真は入学した場合に学生証に使用される写真となります。
3 成績証明書	全員	オンライン出願システム上でアップロード(SCAN) 最終出身(見込含む)学校長名で発行されたもの。(日本語/英語) ※成績証明書と卒業証明書が複合されているものでも可。
4 修了(見込)証明書	日本の大学において 修士の学位または 専門職学位を取得(見込み)の者	オンライン出願システム上でアップロード(SCAN) 最終出身(見込含む)学校長名で発行されたもの。(日本語/英語) ※成績証明書と卒業証明書が複合されているものでも可。
	上記以外の者	オンライン出願システム上で提出(SCAN) 外国において修士の学位または専門職学位を取得した者は、それを証明する書類をご提出ください。 ※出願資格を満たしているかの確認を行いますので、出願資格審査受付日5月8日(水)以前に一度ご相談ください。
5 推薦状	全員	オンライン出願システムを通じて依頼し、推薦者が直接システムに入力。 出身大学院研究科(または学部)の指導教員または、官公庁、企業、団体等の直接の指導者が作成すること。ただし、社会人特別選抜入試の志願者の場合で、在職のまま修学を希望する場合は、現職の所属長が作成すること。 推薦者用のマニュアルは5月20日に募集要項掲載ページに掲載する。
6 受け入れ許可書	全員	オンライン出願システムを通じて依頼し、受け入れ者が直接システムに入力。 受け入れ者用のマニュアルは5月20日に募集要項掲載ページに掲載する。
7 修士学位論文の概要	修士の学位または 専門職学位を取得(見込み)の者	オンライン出願システム上でアップロード 修士学位論文の概要を提出。 概要の様式は自由だが、A4・2ページ以内にまとめること。 概要の様式は自由だが、A4・2ページ以内にまとめること。 研究内容の概要についても、様式は任意。ただしA4・2ページ以内でまとめること。
	上記以外の者	オンライン出願システム上でアップロード 専門に関連した自身の取り組みについて記載した小論文を提出すること。 様式は自由。ただしA4・1ページ以内にまとめること。
8 研究計画書	全員	オンライン出願システム上でアップロード 様式は自由。ただしA4・1ページ以内にまとめること。
9 研究業績調書	全員	所定様式を使用。(別添Wordファイル)提出はオンライン出願システムを使うこと
10 入学検定料 (35,000円)	一般入試選抜	オンライン出願システムを通じて、コンビニ決済払い、もしくはクレジットカード払い コンビニ払いの場合は、レシートもしくは領収書をオンライン出願システム上でアップロード(SCAN)
	社会人特別入試選抜	提出不要(社会人特別入試選抜は入学検定料は無料)該当者はあらかじめ大学院課へご連絡ください。
11 TOEIC®等の外部英語テストのスコア	全員	TOEFL®、TOEIC®、IELTS™等の外部英語テストの公式スコアシートの写しをオンライン出願システム上でアップロードすること。(SCAN)(それ以外の外部英語テストのスコアを提出する場合は事前に要相談)
12 パスポート及び在留カード	外国人志願者のみ	オンライン出願システム上でアップロード(SCAN) パスポートの写し(本人の氏名、生年月日、性別を表示する部分及び日本国査証の部分)と在留カードの写し(裏表)を提出。在留カードは外国人登録証明書で代替可。

Ⅲ. 2019 年度秋期入学博士(後期)課程 募集要項

(社会人早期修了コース入試選抜)

本大学院は、一定の研究業績をもつ社会人を対象とした「早期修了コース」を、産官学連携による技術開発・研究の高度化を念頭におき、優れた研究能力を有する研究者・技術者の輩出を促進する目的で導入し、社会人早期修了コース入試選抜を実施いたします。

1. 研究科専攻および募集人数

研究課名・課程名	専攻名	募集人員
理工学研究科 博士(後期)課程	地域環境システム専攻	若干名
	機能制御システム専攻	若干名

2. 出願資格

一般選抜の出願要件を満たし、かつ下記の要件をすべて満たす一定の研究業績を有する社会人とする。

- (1) 修士課程修了者で、3年以上の業務経験を有する者
- (2) 論文(査読付き)を2編以上有する者。

3. 修業年限

修業年限は1年間とする。

ただし、1年で修了できなかった場合は、引き続き在学し、修業年限は3年間とする。

3年未満での修了も可能とする。

4. 早期修了に必要な条件

下記の条件を全て満たすこと。

- ・学位論文の内容に関わる第1著者または第2著者の査読付き論文3編(掲載許可を含む)以上を有すること。ただし、最低1編の第1著書の論文を含むこと。
- ・在学中に発表者として国際会議論文1編(査読無し可)以上を有すること。
- ・予備審査と最終審査に合格すること。

5. 入学者選考方法、合格発表、学費、入学辞退、注意事項等

「2019年度秋期入学博士(後期)課程 募集要項(一般入試選抜・社会人特別入試選抜)」の同項目を参照してください。

6. 出願手続き

(1) 出願期間等(社会人早期修了コース)

日時	場所
2019年5月20日～6月6日 ※出願資格審査対象者は個別連絡	オンライン出願システム「Universal College Application Asia」より申請する。申請方法のマニュアルは5月20日に募集要項掲載ページに掲載する。

※出願資格審査の対象者へは、別日程を個別にご連絡します。

(2) 提出書類

提出書類	対象者	備考
1 入学願書	全員	オンライン出願システムから必要事項を直接入力する。
2 顔写真	全員	オンライン出願システム上でアップロード(.JPG) 所定欄に写真(4cm×3cm)を添付のこと。なお、写真は上半身・脱帽・正面向き、出願3ヶ月以内に撮影したものとし、写真裏面には氏名・生年月日を記入すること。 ※当該写真は入学した場合に学生証に使用される写真となります。
3 成績証明書	全員	オンライン出願システム上でアップロード(SCAN) 最終出身(見込含む)学校長名で発行されたもの。(日本語/英語) ※成績証明書と卒業証明書が複合されているものでも可。
4 修了証明書	日本の大学において 修士の学位または 専門職学位を取得(見込み)の者	オンライン出願システム上でアップロード(SCAN) 最終出身(見込含む)学校長名で発行されたもの。(日本語/英語) ※成績証明書と卒業証明書が複合されているものでも可。
	上記以外の者	オンライン出願システム上で提出(SCAN) 外国において修士の学位または専門職学位を取得した者は、それを証明する書類をご提出ください。 ※出願資格を満たしているかの確認を行いますので、出願資格審査受付日5月8日(水)以前に一度ご相談ください。
5 推薦状	全員	オンライン出願システムを通じて依頼し、推薦者が直接システムに入力。 出身大学院研究科(または学部)の指導教員または、官公庁、企業、団体等の直接の指導者が作成すること。ただし、社会人特別選抜入試の志願者の場合で、在職のまま修学を希望する場合は、現職の所属長が作成すること。 推薦者用のマニュアルは5月20日に募集要項掲載ページに掲載する。
6 受け入れ許可書	全員	オンライン出願システムを通じて依頼し、受け入れ者が直接システムに入力。 受け入れ者用のマニュアルは5月20日に募集要項掲載ページに掲載する。
7 修士学位論文概要	全員	オンライン出願システム上でアップロード 修士学位論文の概要を提出。 概要の様式は自由だが、A4・2ページ以内にまとめること。
8 研究計画書	全員	オンライン出願システム上でアップロード 様式は自由。ただしA4・1ページ以内にまとめること。
9 研究業績調書	全員	所定様式を使用。(別添Wordファイル)提出はオンライン出願システムを使うこと
10 業績要約書 および業績を裏付ける資料	全員	オンライン出願システム上でアップロード 所定様式を使用。(別添Wordファイル) 社会人早期修了コースの出願資格(2)(査読付き論文2編以上)に該当する業績の要約を記入し提出。また、その業績を裏付ける資料を提出すること。
11 小論文	全員	オンライン出願システム上でアップロード 様式は自由。ただしA4・1ページ以内にまとめること。 専門に関連した自身の取り組みについて記載した小論文を提出すること。
12 入学検定料 (無料)	全員	社会人早期修了コースは入学検定料は無料のため、提出不要です。
13 TOEIC®等の外部英語 テストのスコア	全員	TOEFL®、TOEIC®、IELTS™等の外部英語テストの公式スコアシートの写しをオンライン出願システム上でアップロードすること。(SCAN)(それ以外の外部英語テストのスコアを提出する場合は事前に要相談)
14 パスポート及び 在留カード	外国人志願者のみ	オンライン出願システム上でアップロード(SCAN) パスポートの写し(本人の氏名、生年月日、性別を表示する部分及び日本国査証の部分)と在留カードの写し(裏表)を提出。在留カードは外国人登録証明書で代替可。

IV. 出願資格の認定について

出願資格（6）または（7）に該当する出願者については、次の要領で出願資格の事前審査を行います。
（その他の出願資格で出願する場合は審査不要です）

【提出書類】

- ① 出願資格審査申請書（所定様式）
- ② 業績要約書（自由様式。ただしA4サイズ縦にて作成のこと）
- ③ 上記業績を裏づける資料，論文等（コピー可）
- ④ 入学願書（所定様式）
- ⑤ 小論文（自由様式。ただし専門分野に関する自身の取り組みについて記載すること。）
- ⑥ 最終学歴の成績証明書
- ⑦ 最終学歴の卒業証明書

出願期間	受付時間	提出場所
5月8日（水）	10：00～16：00	豊洲校舎 大学院課

（注）郵送による場合は、「博士課程出願資格審査書類在中」と朱書し，書留郵便として上記期日までに必着でご送付ください。その際、返信用封筒を同封してください。

事前審査は，提出書類および面接等によって実施します。

出願資格審査日	試験会場・日時	審査結果の発表
5月24日（金）	後日、郵送で通知	6月12日（水）

- ※ 大学を卒業していない者については，必要に応じ筆記試験を実施します。
- ※ 審査料はいただきません。ただし，本試験においては本学所定の検定料がかかります。
- ※ 審査結果の発表と同時に受験許可書を送付します。受験許可書は出願時に必要となります。

分野	研究指導科目	教員名	備考
システム工学		村上嘉代子 吉原正一郎 川上幸男 宇佐美良一 五十嵐公治 陳新開 山本紳一郎 杉本徹 足立吉隆 高見弘 松浦佐江子 長谷川浩志 長谷川忠大 島田伸予 春安齋正博 佐伯暢人 市川川人 伊藤藤和 赤内津村昌 木吉見浩章 福安田吉伸 細矢直基 松日楽藤正友 武小藤山友 福龜田子 翟鈴木内慎夫 竹山崎敦吾 石米渡村哲哉 菅谷東敏一 伊尾崎克夫 井尻水創 清水澤純 長澤武 山澤浩 安孫子浩 中島子聡 野田夏 廣瀬敏 飯塚二 清水健一	◎
	システム制御工学特別研究 (研究指導) システム制御工学特論	◎	◎

(研究指導)

分野	研究指導科目	教員名	備考
生命機能工学	生命機能制御工学特別研究 (研究指導) 生命機能制御工学特論	吉見靖男 濱崎啓太 花房昭彦 山本創太 越阪部奈緒美 福井浩二 布施博之 須原義智 佐藤大樹 渡邊宣夫 加納慎一郎 吉村建二郎 二井信行 赤木亮太 廣田佳久	